

町民と議会をむすぶ

町議会 だより

 池田町

VOL. **24**

令和5年2月1日発行

【12月定例会】

施政方針及び議案審議 2～3

町政に問う 一般質問 3人が登壇 4～6

委員会審議

総務厚生常任委員会 7

文教経済常任委員会 8～9



▲(仮)冠山第2号トンネル坑口写真(岐阜県側)



もうすぐです
美濃の人々と
結ぶ道

町長施政方針及び諸事の報告



12月定例会

区長会との連携した事業

「空き家・廃屋の対応策」

6月から区長会との連携事業として、取組みを検討協議してきた「空き家」「廃屋」の対応策を新年度新規事業として提案し、集落の機能や活動と町とが連携した補助事業に取り組みたいと考えております。

「池田暮らしの七か条」創設および「集落共同体 暮らしのテキスト」作成

移住される方々との誤解からトラブルを防ぐため、また思い込みや雰囲気だけで移り住むことによる後悔を防ぐため、町と集落との連携を持ちながら、地域課題解決への取り組みを進めます。



主な事業

(千円未満切捨て)

- 新庁舎・新図書館建設に伴う、開発行為許可申請委託費……………980万円
- 妊婦・子育て家庭に対する経済的支援として、出産・子育て応援給付金……………180万円
- ツリーピクニックアドベンチャーいけだ木製遊具設置費……………5,130万円
- 道路補修工事に伴うマンホールの修繕工事に……………200万円
- ほっとプラザ駐車場拡張用測量委託費……………225万円
- 福祉用具購入費等……………171万円

11月臨時会

下水道料誤徴収の対応

今回、1事業所において下水道料の算定において誤りがあり、誤徴収が判明しました。このため事業者への陳謝と過払金の返納として、還付金を返金させていただいております。

主な事業

(千円未満切捨て)

- 下水道料誤徴収による還付金……………108万円
- 物価高騰対策として臨時特別給付金や町独自の家計応援事業……………2,495万円

12月定例会

(令和4年12月13日～15日開催)

12月定例会が12月13日から15日の3日間にわたり開催され、一般会計及び各特別会計の令和4年度 補正予算、条例に関する議案など、計10議案が提出され、全議案可決されました。

定例会で提案された議案

議案第74号	令和4年度 池田町一般会計補正予算(第9号) …新庁舎図書館建設に伴う開発許可申請委託料、妊婦・子育て家庭への出産・子育て応援給付金、ツリーピクニックアドベンチャーいけだ木製遊具設置費など7,764万7千円を追加補正
議案第75号	令和4年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第4号) …ほっとプラザ駐車場拡張用地の測量委託費など501万1千円を追加補正
議案第76号	令和4年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第3号) …インボイス制度導入に向けた消費税額の算定調査費、ほっとプラザ電気料など61万5千円を追加補正
議案第77号	令和4年度 池田町簡易水道特別会計補正予算(第4号) …建設中の水海町宮住宅の上水道接続工事費14万円を追加補正
議案第78号	令和4年度 池田町下水道事業特別会計補正予算(第4号) …建設中の水海町宮住宅の下水道接続工事費24万円を追加補正
議案第79号	令和4年度 池田町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) …道路補修工事に伴うマンホール修繕費200万円を追加補正
議案第80号	令和4年度 池田町介護保険特別会計補正予算(第4号) …福祉用具購入負担金等171万4千円を追加補正
議案第81号	池田町議会議員及び池田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について …公職選挙法施行令の一部変更に伴い、町条例を一部改正
議案第82号	池田町過疎地域持続的発展計画の変更について …去年策定した当計画に、藪田一村中線などを追加するための計画変更
議案第83号	辺地に係る総合整備計画の変更について …ツリーピクニックアドベンチャーいけだ拡張整備事業費を増額するための計画変更

11月臨時会

(令和4年11月7日開催)

11月臨時会が11月7日に開催され、一般会計及び特別会計の専決処分、一般会計補正予算に関する1議案、各特別会計補正予算に関する4議案、条例に関する3議案など、計10議案が提出され、全議案可決されました。

臨時会で提案された議案

議案第64号	専決処分の承認を求めることについて(専決第10号 令和4年度 池田町一般会補正予算(第7号)) …下水道使用料の誤徴収の還付金として、特別会計への繰出金108万8千円を追加補正
議案第65号	専決処分の承認を求めることについて(専決第11号 令和4年度 池田町下水道事業特別会計補正予算(第3号)) …誤徴収の還付金108万8千円を追加補正
議案第66号	令和4年度 池田町一般会計補正予算(第8号) …人事院勧告に基づく人件費ほか、物価高騰に対する生活支援のため臨時特別給付金や町独自の家計応援事業費など4,070万2千円を追加補正
議案第67号	令和4年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第3号) …人事院勧告に基づく人件費6万円を追加補正
議案第68号	令和4年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第2号) …人事院勧告に基づく人件費26万2千円を追加補正
議案第69号	令和4年度 池田町簡易水道特別会計補正予算(第3号) …人事院勧告に基づく人件費3万4千円を追加補正
議案第70号	令和4年度 池田町介護保険特別会計補正予算(第3号) …人事院勧告に基づく人件費7万3千円を追加補正
議案第71号	池田町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正について …人事院勧告に基づく特別職の期末手当を改定
議案第72号	池田町一般職の職員の給与に関する条例一部改正について …人事院勧告に基づく職員の給与や期末手当を改定
議案第73号	池田町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について …人事院勧告に基づく職員の給与や期末手当を改定

町政に問う

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

一般質問



宇野 一正 議員

再生可能エネルギーの導入について

水海地区有志により、調査研究していた小水力発電所が、令和3年から水海川上流で建設が始まり、令和6年には売電が開始される。売電価格は20年間固定されており、売電による利益は、水海地区賑わい創出事業として使用され、今後水海地区で取り組む、地域活性化の元となり、水海地区の発展につながると思われる。このような再生可能エネルギー施設を町や区が主体となり、その他の地域でも建設を進める考えがあるのでしょうか。

総務財政課長 池田町脱炭素実現ビジョンの策定を行い、2040年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目標に描いている。脱炭素実現ビジョンでは、省エネルギーの推進や森林資源の活用、バイオマス燃料への転換、再生エネルギー導入を柱としている。再エネ発電設備として小水力発電施設整備に取り組むこととしている。

脱炭素実現ビジョン会議の委員である富山国際大学の土坂教授に池田町内の発電施設設置に向けた候補地調査もお願いしている。

冠山峠道路関連について

開通が間近となった冠山道路である。大垣方面へのルートは大野経由、木ノ本経由、国道8号経由であるが、冠山経由で行くルートが距離の短縮になり、重要なルートになると考えられ、今後の交通量を予測すると相当数の増加が考えられる。国道417号の出入口となる志津原、土合皿尾地区には大型・中型トラックの駐車場が無く、今後整備されるフォアシーブズテラスの駐車場も大型車が入るには充分とは言えず、観光客や、住民の通行に支障が出ないよう要望する。また、国道476号谷口〜上荒谷まで道路幅が狭く、大型車のすれ違いが困難な箇所が多くあり、危険であることからバイパス道を国道にする事は可能でしょうか。また稲荷お祭り広場前に信号

機が必要と考える。住民を交通災害から守る事が大事であり開通までに危険箇所を点検修理対処して欲しい。

町道整備課長 国道417号チエーン着脱場についてはフォアシーブズテラス利用状況や除雪後の路面状況を確認しながら道路管理者である福井県に要請する。通称バイパス稲地―谷口線を国道476号に昇格させることは制度的に可能だが、現在計画は無い。JA前交差点は国道417号冠山峠道路開通後の車両交通量を確認しながら警察・公安委員会に要請する。

また、危険箇所調査等を行う。



▲通行の危険を感じるお祭り広場の様子



▲谷口地区の狭い国道476号の様子

一般質問



宇野 邦弘 議員

池田町でも18歳までの医療費完全無料に

県内で、医療費無料化が中学卒業までの自治体は、池田町だけ。1医療機関当たり通院月500円などの一部負担金も、大野市や南越前町など4市6町ではない。高校卒業まで完全無料化に踏み切るべき。

保健福祉課長 統計データなどから推定すると、高校生無料化のための町負

担は年約80万円程度。公的サービスの無償化は過剰なサービスにもなり、他市町村でしているといっても、池田町では考えていないが町独自の「入学支援制度」や「ママがんばる手当」など子育て世帯への応援策を実施している。今後メリハリの利いた独自の支援策の展開を考えている。

学校給食無償化は全国の流れ

学校給食費無償の自治体が全国の256自治体まで広がっている。町村で見たら3割の自治体が無償。県内でも、永平寺と高浜は完全無償。坂井とあわら市は半額助成、越前町は3学期は無料にする。

以前の町の答弁で、教育委員会は「学校給食法では随費は保護者負担としている」と答えている。でも国会で首相は「学校給食法は自治体判断での全額補助を否定していない」と答弁し、文科省も「全国の無償化に

オーガニックブリッジ宣言でさらに有機農業の推進を

農水省の「みどりの食料システム戦略」は、2050年までに有機農業の取組面積を100万haまで広げ、交付金支援を2025年までに100自治体を目指している。全国55市町村がこの戦略のもと、「オーガニックブリッジ」宣言をあげ有機農業の拡大に向けた取組みを始めている。すでに、「ゆづきげんき正直農業」など進めている池田として、オーガニックブリッジの全国的動きに合流したらどうか。学校給食への有機食材活用もさらに進めてほしい。

農水省は黙食について、文科省は黙食について、緩和措置を打ち出している。

農水省の「みどりの食料システム戦略」は、2050年までに有機農業の取組面積を100万haまで広げ、交付金支援を2025年までに100自治体を目指している。全国55市町村がこの戦略のもと、「オーガニックブリッジ」宣言をあげ有機農業の拡大に向けた取組みを始めている。すでに、「ゆづきげんき正直農業」など進めている池田として、オーガニックブリッジの全国的動きに合流したらどうか。学校給食への有機食材活用もさらに進めてほしい。

感染症対策として給食時にまで黙食を強いることは子どもたちの成長のためにもふさわしくないが現状と考

教育委員会事務局長 全国で無償化自治体が広がっているが、コロナ対策の臨時交付金を活用している。

農水省は黙食について、文科省は黙食について、緩和措置を打ち出している。

農水省の「みどりの食料システム戦略」は、2050年までに有機農業の取組面積を100万haまで広げ、交付金支援を2025年までに100自治体を目指している。全国55市町村がこの戦略のもと、「オーガニックブリッジ」宣言をあげ有機農業の拡大に向けた取組みを始めている。すでに、「ゆづきげんき正直農業」など進めている池田として、オーガニックブリッジの全国的動きに合流したらどうか。学校給食への有機食材活用もさらに進めてほしい。

介護制度の改訂について

利用料や利用対象の改訂、ケアプラン作成有料化などの負担増・給付削減が審議されているが、受け止めは、

保健福祉課長 持続的な制度維持のためには必要な改革と考えている。ただ制度も複雑なため、軽減制度などの周知に努めていく。

ヘリコプターの木材搬出結果は

ヘリコプターによる搬出実証事業の公表結果はどうだったのか。

木望の森づくり課長 入札は5社。金額は、今後の入札の優位性を保つたためにも公表は控えたい。

質 疑 応 答

委員長 宇野一正
副委員長 松井靖明
委員 飯田拓見 和田義則
宇野邦弘 丸石純一

町政に問う

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

一般質問



丸石 純一 議員

国道417号における道路周辺整備について

志津原集落の端から冠山トンネルまでは電波の届かない携帯電話の不感地域となっており、事故・災害等緊急時の通報に支障があると考えますが、これら解消に向けて対策は考えているか。

総務財政課長

国道417号の携帯電話の不感地域の解消については、交通事故等非常時の連絡手段の確保の面からも道路管理者である福井県にて整備が図られるように現在協議を行っている。

池田町役場における職員の定年延長について

職員が不足することも想定し職員の定年延長についての考えを伺う。

総務財政課長

地方公務員法の改正に伴い、職員の定年を段階的に引上げ、令和13年度に65歳にする。池田町職員の定年等に関する条例改正は、3月定例会で上程する。その際は60歳以降の職員の働き方、位置付け等について説明する。

会計年度任用職員と正職員について、業務について明確な線引きがされているか伺う。

総務財政課長

会計年度任用職員と正職員の業務の明確化については、会計

出産子育て支援について

丸石議員

子育て支援について、池田オリジナル支援を行っていることは素晴らしいが、お母さんたちが他の自治体との支援制度を比較した時にこの様な支援策があることをしっかりと

発信して欲しい。

保健福祉課長

ホームページ、SNSなどで周知・発信していきたい。



新庁舎・図書館建設について

和田議員

新庁舎・図書館建設事業費に委託料が計上されているが、具体的に何をされるのか。

総務財政課長

都市計画法に基づく開発行為の許可申請が必要になり、その申請に向けた、各資料作成を委託するため、今回補正したものの。

職員の負担軽減として

松井議員

役場全体で通信運搬（郵送）については全て外注委託する事は出来ないのか。

総務財政課長

原則、文書発送は役場が行なっている。

丹南広域組合で作成する税金の納付書等については、封入作業を外注委託している。

スキー場等施設の料金設定について

条例における料金設定について、どのように算出しているか伺う。（スキー場、冠荘、TPA）

農村政策課長

設定については、コスト面および民間水準等も考慮し、過度に高価あるいは極端に安価にならないよう設定している。

エネルギー価格の上昇、賃上げなどをうけて、条例としての料金設定が適切だと考えているのか、池田町としての考えを伺う。

農村政策課長

電気料については、今後値上げとなる見込みだが、これらコスト面だけを考慮しつつも、類似施設の動向を見ながら検討していきたい。

（一財）池田屋、株式会社Pへの2500万円と800万円の補助額については、金額の大小等現場の現状にあった協議をしていく必要があるのではないか。

農村政策課長

池田屋について、町の共有財産管理

として主に温浴サービスを安定的に、また安価に提供することで町民の保養、町内外の方々の交流の場づくりなど行うことに必要不可欠な職員の人件費に充当しているものであり、今後必要とされている。

まちUPが管理する「まちの駅」コテ池田への補助については、人件費の補助ではなく町が設置した施設の管理経費として支払っているものであり、行政が直接運営した場合においても同様な金額がかかるものであり、必要なものである。

今後ともサービスの質向上を主眼とし職員のモチベーション、収益向上に向けてこれまで以上に工夫することなど、町としても引き続き応援すべきと考えている。いずれも経営環境や経営管理の両面において実態調査と対話により対応していきたい。

選挙運動公費負担はどのようになった

丸石議員

この公費負担は、一般財源なのか。国県からの支出金なのか。

総務財政課長

これは全て池田町の財源となる。

飯田議員 池田町の選挙で供託金の金額は。

総務財政課長

町長50万
町議会議員15万円となる。

宇野一正議員

選挙カーが電気自動車になると充電費は、対象になるのか。

総務財政課長

ガソリンが対象なので、充電は対象外となる。

また、選挙カーを親族から借りた際は、対象外になるので注意が必要。



ふるさと納税について

丸石議員

池田町では返礼品付ふるさと納税はしていないが新幹線とかずら橋をセットにした「池田町セット」といった返礼品を提案する。是非、検討してほしい。これを提案する理由としては、単なるショッピング感覚で池田町を選んでもらうのではなく、本当に池田町を応援してくれる

人に対する返礼品となる可能性はあるから。

総務財政課長

現在、町づくり自治委員会は、ふるさと納税を扱う「ちっちゃな幸せ実現事業」については見直しを考えている。

また返礼品付ふるさと納税については検討したいが返礼品が主になってはいけないので注意したい。

休止しているアドベンチャーボートの今後の展開は

池田町過疎地域持続的発展計画の変更より

丸石議員

アドベンチャーボート機能強化とあるが、現在水量の問題や人手不足の問題などで、稼働が出来る問題がない話を聞くが、この機能強化によりどんな事になるのか。

和田議員

今のアドベンチャーボートだが、月ヶ瀬の神社前の水位が浅くなっているが大丈夫か。

副町長

道のオアシスで受付を考えている。ここに更衣室やシャワーなどの整備が必要である。また川底の

過去何回か、改修しているが、現状では難しい。今後検討していく。

質 疑 応 答

委員長 佐野和彦
副委員長 丸石純一
委員 岩崎昭一 宇野邦弘
宇野一正 松井靖明

子ベンチャーパークグレードアップ追加整備事業について

農村政策課長 TPAの子ベンチャーパーク整備プロジェクトアップ追加工事として、大型木製遊具を設置するため、新産業開発費5130万円を補正したい。木製遊具は「遊べる動物のミニメント」として、3種類の動物および植物をモチーフとしている。それと冠山を想定した森のジャングルジムをパーク内に整備する。契約先は、海外のデンマーフの企業を予定しており、海運で運び込み、今年の夏には設置予定である。

副町長 設計図は相手会社のものであり、著作権もある。また我々には、製造できるだけの技術や基準もないので、製造は出来ない。しかし、遊具を見る・触ることで、我々もノウハウを学び、スキルアップにつながることも期待している。

丸石議員 最近の円安や物価高騰による経費の増加はないのか。また、なぜ隨意契約になったのか。

農村政策課長 相手会社と協議したのは10月頃であり、円安や物価高騰による為替相場や輸送費コスト増などは確認していない。

副町長 大型木製遊具における製造基準は、日本における製造基準は、日本に合わせる必要がある。小動物なども含め対策を行う。また遊具は、子ベンチャーパーク内のため、料金は有料。パークの外周をモノレールが回り、そこをネットなどで囲む予定。敷地内への出入りは、管理棟横の1ヶ所を考えている。

佐野議員 せっかく遊具が整備されるのだから、池田町の子供たちも楽しめるような事も考えて欲しい。また安全対策はどう考えているのか。

副町長 安全面では、遊具周辺には杉チップ材を敷き詰め、クッションをよくする。

宇野一正議員 遊具の耐用年数はどのくらいか。また遊具すべてが木製なのか。相手会社より設計書をお願い、我々で製造はできないのか。

農村政策課長 表面は木材を使用し、内部フレーム等は金属を使用している。耐用年数は不明だが、堅い木材を使用し、ヨーロッパ

岩崎議員 遊具内に、蛇などの小動物が住み着くこともあるが、冬場も含め、どんな管理体制を考えているのか。また、遊具の使用は有料なのか。

岩崎議員 今回の事業では、森林環境譲与税を活用しているが、もっと身近に人が触れる林縁部整備などの林業振興に活用するべきではないか。

副町長 林縁部や道路景観の森林整備は、各区長の要望により、県単事業にて実施している。

副町長 スキー場における安全統括管理者は、副町

宇野一正議員 地域分散型町営住宅として水海で1棟建設予定の町営住宅の状況はどうなっているのか。

町土整備課長 現在、施工中であり、完成は5年度夏の予定。このため繰越し予算になる。

岩崎議員 ヘリコプターによる木材搬出の結果はどうだったのか。計画では4mの材を搬出することだったが、私が現場で見たところ、6mや8m材があったが、どういうことか。

副町長 伐採区域は約2ha、この内、優良材がある地点を伐採し、約170mを搬出した。新庁舎建設用には、長尺材も必要のため、6mや8m材も試みた。

副町長 林縁部や道路景観の森林整備は、各区長の要望により、県単事業にて実施している。

副町長 スキー場における安全統括管理者は、副町

地域分散型町営住宅建設について

宇野一正議員 地域分散型町営住宅として水海で1棟建設予定の町営住宅の状況はどうなっているのか。

町土整備課長 現在、施工中であり、完成は5年度夏の予定。このため繰越し予算になる。

岩崎議員 ヘリコプターによる木材搬出の結果はどうだったのか。計画では4mの材を搬出することだったが、私が現場で見たところ、6mや8m材があったが、どういうことか。

副町長 伐採区域は約2ha、この内、優良材がある地点を伐採し、約170mを搬出した。新庁舎建設用には、長尺材も必要のため、6mや8m材も試みた。

副町長 林縁部や道路景観の森林整備は、各区長の要望により、県単事業にて実施している。

副町長 スキー場における安全統括管理者は、副町

新庁舎建設におけるバイオマスの考え方について

松井議員 現在、物価高騰などにより電気代も値上がりしているが、今後、整備する新庁舎建設に伴うバイオマスの考え方はどのようなのか。

副町長 バイオマスには、木材を燃焼させ、発電と発熱がある。発電には、池田町産材では必要量が足りないため考えていない。発熱は、暖房や給湯ができ、一般的には、発電より合理的であり、新庁舎では、発熱のみを検討している。

宇野邦弘議員 当初計画に対しての残りは、もう搬出しないのか。

木聖の森づくり課長 当初計画では、飛行回数235回で300mを搬出・集材する計画だったが、結果は、287回飛行し、170mの搬出・集材となった。これ以上は、予算を超えるため、このような結果になった。

木聖の森づくり課長 当初計画では、飛行回数235回で300mを搬出・集材する計画だったが、結果は、287回飛行し、170mの搬出・集材となった。これ以上は、予算を超えるため、このような結果になった。

木聖の森づくり課長 当初計画では、飛行回数235回で300mを搬出・集材する計画だったが、結果は、287回飛行し、170mの搬出・集材となった。これ以上は、予算を超えるため、このような結果になった。

スキー場を管理する索道管理者について

丸石議員 新保スキー場の管理者となる索道管理者や圧雪車の運転手はどうなっているのか。

副町長 スキー場における安全統括管理者は、副町

丸石議員 最近の円安や物価高騰による経費の増加はないのか。また、なぜ隨意契約になったのか。

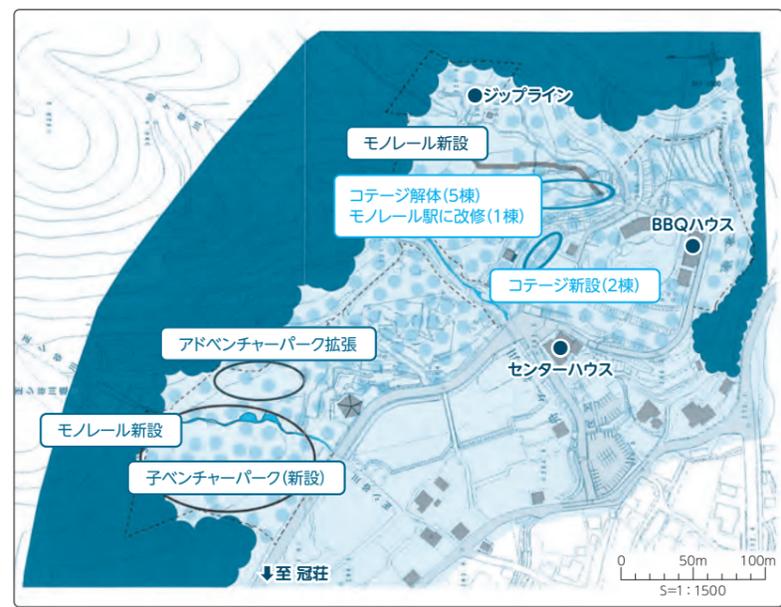
農村政策課長 相手会社と協議したのは10月頃であり、円安や物価高騰による為替相場や輸送費コスト増などは確認していない。

副町長 大型木製遊具における製造基準は、日本における製造基準は、日本に合わせる必要がある。小動物なども含め対策を行う。また遊具は、子ベンチャーパーク内のため、料金は有料。パークの外周をモノレールが回り、そこをネットなどで囲む予定。敷地内への出入りは、管理棟横の1ヶ所を考えている。

副町長 スキー場における安全統括管理者は、副町



▲木製遊具イメージ



▲ツリーピクニックアドベンチャーいけだ拡張整備事業位置図



▲ヘリコプターによる運搬の様子



▲搬出材の集積場

2022年

「池田恋い・来い・濃〜いキャンペーン」の実績について

※報告書より一部抜粋

本事業は2年間に渡る観光キャンペーン事業

令和5年に開通予定とされる冠山峠道路、また、令和6年春には北陸新幹線が敦賀まで延伸開業されます。さらには中部縦貫自動車道の開通も予定。池田町としては社会資本インフラ整備の高度充実化は観光振興を始めたとして千載一遇の好機と捉えるとともに、単なる通過地に留まることがないように物産の販売や食の個性化、文化伝統や風土の魅力化、自然や風景の保全、都市農村交流事業の向上・差別化を図るとともに選ばれるまちづくりへの展開に向け、観光振興を势力的に展開するべく、2022年より2ヶ年事業を基本として観光キャンペーンを実施していく計画です。

● 能楽の郷池田 葉月薪能

【開催日】 令和4年8月11日

【来場者】 A席…355人 B席…240人
合計595人

※来場者内訳推計

町内…90人 町外…505人(内、県外35人)



● ゲッター選手権大会2022

【開催日】 令和4年10月8日、9日

【出場者】 ペアの部 …… 16チーム 39人
クワッドの部…21チーム 93人

● 食の文化祭2022

【開催日】 令和4年11月5日、6日

【出店数】 55店舗(新規出店5店)
飲食…29店 物販…9店
体験…17店

【来場者】 約8700人



来年度に向けて

池田町としては地元住民や来場者との接点や交流の機会を設けることで地域性の濃度を高めたいと考えております。また地域ブランドを向上させるために、様々な視点から継続的な取り組みを行っていくので、ご協力、ご参加等よろしくお願い致します。



編集後記



今回は、写真や図を一定入れることができ、ゆとりある紙面になったと思います。今後とも委員会審議を含め、より議会の内容を分かりやすく伝えていきたいと考えています。
(宇野邦弘)



表紙の写真

令和5年に全線開通予定である県境の(仮)冠山第2号トンネルを視察した。国交省の職員から、今後の工事として、このトンネル工事から出た掘削残土を、岐阜県側の道路高上げに使用し、その後舗装工事を完了するとの説明を受けた。

池田町からトンネルを通り抜け、揖斐川町に着くと、美濃の人々や両町を結ぶ道が広がり、待ちに待った新しい幕開けの風を感じることが出来た。

議会広報特別委員会

委員長	丸石 純一
副委員長	宇野 一正
委員	佐野 和彦
委員	宇野 邦弘
委員	松井 靖明
発行責任者	
議長	飯田 拓見